

## 鳥獣被害防止総合対策交付金事業の評価報告

事業実施主体名 (参画協議会名)	構成市町名	評価年度
島田市鳥獣被害防止対策協議会	島田市	令和4年度

### 1. 対象地域及び実施期間

対象地域	島田市
実施期間	令和元年度～令和3年度

### 2. 被害防止計画目標の達成状況

被害防止 計画目標	基準年（H29年度） の実績値 A	目標値 B	目標年（R3年度） の実績値 C	達成率（%） A - C / A - B	備考
イノシシ	359 a 13,875千円	323 a 12,488千円	91 a 3,360千円	131% 121%	
サル	6a 400千円	5a 360千円	— —	—% —%	
ニホンジカ (カモシカ含む)	31 a 1,528千円	28 a 1,375千円	60 a 2,423千円	△966% △584%	
計	396 a 15,803千円	356 a 14,223千円	151 a 5,783千円	612% 634%	

※上段：被害面積又は数量、下段：被害金額

※防護柵等設置補助金申請を基に、農業被害について記載

### 3. 目標の達成のために実施した事業

事業内容	事業量	管理主体	供用開始日	事業効果
鳥獣被害防止総合対策推進事業	センサーカメラ 12台 獣サイズ判別センサー 12台 箱わな 15基 罠いわな 1基 くくりわな 17基 参考書籍購入・研修会受講	島田市鳥獣被害防止対策協議会	平成31年4月1日 より随時	豚熱によるイノシシの減少やニホンジカの増加等、捕獲対象の変化に対応するためにICT機器等を導入したことにより、加害獣種の捕獲を効率的に行うことができた。
鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業	イノシ 成獣 719頭 イノシ 幼獣 172頭 サル 成獣 12頭 ニホンジ 成獣 124頭	島田市鳥獣被害防止対策協議会	平成31年4月1日	有害鳥獣捕獲の実施により、加害個体の減少が図られた。また、捕獲者に対して支援が図られた。

### 4. 総合評価

目標値について達成することができた。要因として、豚熱によるイノシシの個体数の減少が大きく影響していると推察される。  
また、くくりわなやICT機器を導入したことが、ニホンジカ捕獲頭数の増加の要因として挙げられる。しかしながら、ニホンジカの個体数及び被害については依然として増加傾向にあることから、継続して対策の実施が必要である。  
捕獲実施者の減少・高齢化が課題であることから、ICT機器等の導入や農業者の防除に対する意識改善が必要である。

### 5. 第三者の意見（森林・林業研究センター 上席研究員 水井陽介）

被害金額・面積ともに目標の達成率は100%であり、対策の効果がみられる。  
今後も対策を継続し、被害の軽減に努めることを期待する。